

収納率向上アドバイザー

堀博晴の滞納整理塾



第10回

国保制度を
崩壊させないために!!

新しい領域にチャレンジ!

皆さんは搜索を行ったことがあるでしょうか。搜索は財産調査の一形態で国税徴収法141条第1項に基づき強制調査です。滞納者に誠意が見られない、机上の財産調査では財産の発見に至らないが、周囲の状況から隠し財産を持つているのではというケースでよく行われています。

皆さんは搜索を
行ったことがある
でしょうか。搜索
は財産調査の一形
態で国税徴収法
141条第1項に
基づき強制調査で
す。滞納者に誠意が
見られない、机上の
財産調査では財産
の発見に至らない
が、周囲の状況から
隠し財産を持つて
いるのではという
ケースでよく行わ
れています。

そんな時、私が搜索員として行った事案で押し入れの中から100万円が出てきたことがあります。滞納者に事情聴取すると、机上の調査では分からなかった別の収入源があることが分かったのです。預金はせずに押し入れに隠し持っていたのです。搜索をしなければこの100万円は都税収入にならないばかりか滞納金額は停止処分となってしまっていたでしょう。また、職員が見つけれなかった預金通帳が出てきていたのを見つけたというようなこともありました。

知恵を出し合って!

これからの時代は、頭数で勝負する時代ではありません。むしろ職員の皆さんが知恵を出し合って、本来の意味での能力で勝負する時代が到来したと考えます。言うならば「地方自治体における少数精鋭の時代」とでも言えるでしょうか。

私が徴収の仕事に携わった頃は、搜索はほとんど行われていませんでした。なぜ搜索しないかという、怖いから、失敗するのが嫌だからなどという理由でした。確かに搜索に行く相手は逆上し何をされ

いま行政に求められることは、職員の皆さん1人ひとりが自分の職務について、一生懸命どうしたら効率的・効果的な仕事ができるかを考えることだと思えます。そして良い方法があれば失敗を恐れず果敢にチャレンジしていくことが大切だと思います。

皆さんは搜索を
行ったことがある
でしょうか。搜索
は財産調査の一形
態で国税徴収法
141条第1項に
基づき強制調査で
す。滞納者に誠意が
見られない、机上の
財産調査では財産
の発見に至らない
が、周囲の状況から
隠し財産を持つて
いるのではという
ケースでよく行わ
れています。

停止事案を搜索すると必ず100万円が出てきたり、隠し口座が見つかるというのですが稀有のケースです。しかし搜索をすれば、本当に財産がない、若しくは生活に支障のない換価可能な動産類を差し押さ

例えば、「インターネット公売」を平成16年7月に開始したことで、納税交渉に変化が出てきました。ニュース等で「インターネット公売」を知った滞納者が物納よろしく「これを売ってくれ」と動産を持ってくるように

えて公売した上で本当に財産がないという確信のもとに停止処分をすることができるとのことです。

停止事案で搜索に慣れていただき、長崎県佐世保市役所のように搜索を日常化していくという「新たな領域に挑戦」してみたいかがでしょうか。

なったり、納税交渉で「何か売るものありませんか」と職員が言えるようになりまし。インターネット公売を考えたのもひとつの知恵であります。知恵といえば、平成17年6月に埼玉県が初めて「タイヤロック」を導入し、これが全国に広がっていますが、これを考えた職員も相当の知恵者だと言えるでしょう。

さらに、大阪の富田林市ではおそらく全国で初めての「バイク一斉差押」を平成17年11月に行いました。軽自動車税と他の税(料)を滞納している人に、「差押予告」を一斉に出し、納税に応じなかった滞納者をリストアップし、放置自転車の取り締まりに使っているリフト付きトラックを先頭に一斉にバイクを差し押さえたのです。

特筆すべきは差し押さえたバイクの中に、国保料の滞納による差し押さえがあったことです。人数の少ない市では納税部門と国保の徴収部門が協力してこの事業を成し遂げ成果を上げました。知恵とは少し違いますが、行動とでも言いましょうか。

長崎県佐世保市の国保が徹底した財産調査、滞納処分を行うことによつて、平成16年度88・29%だった一般現年度の徴収率は88・92、90・20、90・65%と毎年上昇し、平成20年度には

ついに91・05%と調整交付金減額が解除になり、21年度も90・77%と90%を超え、2年続けて減額を免れたことを知りまし。全国の徴収率が軒並み下がっている中での快挙です。

NHKの「あさイチ」という番組で、佐世保市の豊原課長(当時)が差し押さえた自動車を前に笑顔でコメントをしている姿を拝見し、国保制度はまだまだ崩壊しないという気持ちになりました。このほか、釧路市では朝早く市営住宅に駐車してある滞納者の軽自動車に一斉にタイヤロックをし、団地内の本部車でタイヤロックを外してくれと言ってくる滞納者を待つという方法で、相当の成果を上げたそうです。

清水町の夜逃げをした家の捜索



捜索の様子



そのままの洗濯物



窓から捜索



荒れた室内捜索

窓枠を外して

鍵屋さんが玄関の鍵を開けられなかったので町職員が窓枠を外して侵入。室内は荒れていて足の踏み場もなかったそうです。

収納(徴収)部門には、まだまだ知恵を出せばいろいろな「策」があると思います。人員削減や、1人当たりの持ち件数が多いなどと嘆いているのではなく、こういう現状で仕事ができることをチャンスとして捉え、失敗を恐れず、前向きな姿勢を常に持っていたきたいと思います。

いずれにしても、収納率を向上させるには差し押さえが一番です。そして、おらが自治体ではそこまでやるようになったのだ、と住民の方々に知ってもらうことが大切だと思います。最初は苦情の客が多いと思いますが、続けていくことで必ずその苦情が減ってくることでしよう。

(つづく)

プロフィール

堀 博晴
(ほり ひろはる)



ヤフー株式会社コンシューマ事業統括本部官公庁担当、NPO LG Net理事長
昭和42年江戸川区役所に入都

東京都総務局小笠原支庁、同和对策部、災害対策部

主税局足立都税事務所整理第二課長、新宿都税事務所整理第二課長、練馬都税事務所納税課長、課税部軽油特別調査室副参事、徴収部機動整理課長、徴収指導室長を歴任し、平成17年4月より現職。機動整理課長の時、全国で初めてのインターネット公売を実施し成果を上げる。「ネット公売を全国に広げたい」と、自らヤフーのスタッフ募集に応募する。インターネット公売の説明に全国の自治体を飛び回る。平成23年よりNPO法人LG Netを設立し、理事長に就任。

著書には、インターネット公売のすべて(ぎょうせい)、自治体増収大作戦-インターネットが変えた-(ぎょうせい)がある。

厚生労働省国民健康保険料(税)収納率向上アドバイザー